

奈良・人と自然の会

〈わたしたちは大和の自然を愛します〉

「知ることは感じることの半分も重要でない」

有本 倍美

このたび、川井秀夫さんから自然観について書くように要望をされた。川井さんとは大阪シニア自然大学三期の同期生で企画運営委員会の仲間として各種イベントの運営をやってきた。なかでも白山修学旅行や修了式の挙行は印象に残っている。大阪シニア自然大学に入学した動機は今までと違うことをやってみたいという漠然とした考えをもっていたところ、自然と名のつく学校があると聞いて飛びついた訳。一期二期と待つこと二年、ようやく入学を許可され「目から鱗」の毎日であった。「蒲公英」という俳句会を立ち上げたのも川井さんと五名の三期生である。

そこで俳句の話、季語という先達が築き上げた美的秩序の偉大さには全くの驚きである。例えば「はえ」「ませ」「南風・ミナミ」「屈・ナギ」「風・オロシ」など「風」の状態についての季語があり、「風光る」「風薫る」「色なき風」のような感覚的な「風」の季語もある。はじめて、これらの言葉が使われた先達俳人達の想像力、集中力に驚嘆させられるとともに、その感性には憧れすら覚える。

レイチェル・カーソン著「センス・オブ・ワンダー」の一節に、標題の「知ることは感じることの半分も重要でない」がある。このフレーズに触れた時、私の感概はひとしおであった。さすが、「自然観察のバイブル」といわれる所以である。「美しいものを美しいと感じる感覚、新しいものや未知に触れたときの感激、思いやり、憐れみ、賛嘆や愛情などの感情が呼び覚まされると、次はもっとよく知りたいと思うようになる。そのようにして見つけた知識は、しっかりと身につく。」幼い子の好奇心には計り知れないものがあるが、年々好奇心は満たされ、後期高齢者と言われる今日の好奇心は衰えてくる。ところが、老いてますます盛んになる感じる好奇心がある。個人の価値観の差はあるが、生きている間にもっと感じておきたいという「知的好奇心」。森羅万象さまざまの不思議、歴史、文化、地球環境の行方、これらはまるで幼児のように生き生きとした感じる好奇心である。

欲求段階説というのがある。生理的欲求、安全(危険回避)の欲求、社会的(集団帰属)欲求、自尊欲求 自己実現欲求。1と2は動物的な欲求としていわば生存欲求。満たされれば欲求は進行しないという。3~5 は人間的欲求として、人に理解されたい、受け入れられたい、自尊心を満たしたい、他者から注目されたい、評価を受けたい、さらに高度化して、審美、自由、個性、楽しみ、心の豊かさを求める自己実現欲求がある、これらは満たされてもさらに求め続けるという。心理学者が言いだした説で、人の動機づけ(モチベーション)にもってこいの分析で、広く活用されている。私が重要なのは手を替え品を替えてもやり続けたい自己実現欲求である。

自然に対する見方、考え方は昨今、環境という切り口で多様に論じられているが、まだまだ本当の深刻さが議論されておらず、国レベルのエゴイズムの段階であるのはかなしい。地獄の釜の蓋を持ち上げて地球の方向性を見届けるまでは死ねないと思う昨今である。

季節感と日本語 Ⅲ

川井 秀夫

今回は『雨』の話題を書いて見ました。四季折々、詩情豊かなものから、災害を起こすものまで、人生の印象に残る事象の中で、幾つかは‘雨’が演出したものが誰しも有るのではないのでしょうか。

や

私のエピソード中から一つ二つ。 「遣らずの雨」と言う言葉があります。

もう五十年近く前でしょうか、職場の同僚である女性が結婚し、新居を訪れた事があります。御馳走になり、長居は無用と引き留めるご兩人を後に、外に出ると激しい雨。見兼ねた新妻が駅まで送りますと、相合傘で洒落た道行きがありました。「遣らずの雨」とは、訪れた人を引き留める様に降り出した雨を言います。後年、あの時何故一本の傘しかなかったのか不思議でなりません。物不足の時代だったからでしょうか。

夏の雨の一つに「白雨」と表現する雨があります。白昼、突如降り出した激しい雨の事ですが、前方が昼の明るさを映して白く見える雨の事です。

これも昔の話ですが、友人と旨い蕎麦処があると待ち合わせ、阪急の最寄駅に降りた途端沛然と降る雨。暫く様子を見て店に飛び込んだものの衣服が濡れ鼠、遅れて来た相棒がその様は何だと訝る。遅れた罰に勘定は相手持ちになったのは言うまでもありません。

俳句の季語に「春の雨」「春雨」とあります。同義語ではありますが、使い方が違います。前者は二月から三月頃に降る暖気を含んだ短く降る優しい雨。後者は三月から四月にかけて長く降る雨を言い「春霖」とも言います。日本人の情感の細やかさでしょう。

秋の雨にも同様の使い分けがありますが、私は季節の雨では春が一番の好みです。

面白い雨言葉に「虎ヶ雨」と言うのがあります。夏の季語ですが、鎌倉期の曾我兄弟の仇討ちに困む主人公の愛人、虎御前が忌日に流した涙から、「虎ヶ涙」「曾我の雨」とも言います。

地方には、丹波太郎とか、和歌山のある地域に降る雨を和泉太郎とか特有の呼び名が今でも残っています。太郎と付した言葉には雨以外にも多くあり、一番と言う意味でしょうか。ご当地、東大寺の鐘を「奈良太郎」と言います。奈良一番の鐘と言う事でしょう。

今年のタイガースは破竹の勢いが続きます。「虎ガ雨」どころか「虎ノ喜雨」「甲子園太郎」と冠名をつけたい位です。「日本太郎」まで突っ走って欲しいものです。

世界は、温暖化問題で揺れています。気候変動も大型化し、破壊力を増す現象が多くなって来ました。雨の情緒に浸る気分ではありませんが、雨は水の運び屋、生命の源であり、日本人として天水の恩恵を素直に感謝したいと思います。

次回は、もう少し雨の話をご紹介しますと思います。

6月例会 天の香具山 万葉の森へ

阿部 和生

日 時：平成 20 年 6 月 14 日(土) 曇り 参加者 24 名 10:00~15:00

コース：近鉄橿原線 畝傍御陵前に集まり、古代の遺跡（本薬師寺、紀寺、法然寺、大官大寺、天の岩戸神社、天香具山、国常立神社、天香具山神社、八釣山地蔵尊、藤原宮跡）を訪ね、最後にバラの咲き乱れる「小房観音寺」に詣で近鉄八木西口で解散した。

梅雨時期での開催、お天気が心配されましたが、幸いにも降らずゆったりとしたコースを散策できました。

古代天皇制の確立される前の頃 1300 年以上前の歴史を思い浮かべながら、要所々々の川井前会長の名解説に耳を傾ける一日でした。資料にある王家の近親婚や多くの后、有力豪族とのつながりは、複雑です。天皇の即位順序が、現今のように確立される前の時代と認識しないと、はてな？はてな？になってしまいます。姉妹が一緒に嫁いだり、姪を娶ったりつまりは「母が違えば近親婚にならない」のが常識の時代でした。

平成 8 年の発掘調査で[藤原京]の面積が、従来の定説の 4 倍(5.3^{*}。四方) 大和三山がすっぽり入る規模であったと確認されています。そうした大きな都が、僅か三代 16 年で平城京に遷都してしまいます。古代のことをあれこれと思い浮かべロマンに浸っていると、最終の「小房観音」ボケ封じの観音様で 現実に引き戻された一日でした。

周遊の万葉植物園をご案内する予定でしたが、クサぼうぼう、スズメバチと出くわしたりで手入れが十分でなく、今回昼食広場だけの散策となりました。

** 万葉の森の楽しいお昼時間 **

吉村 さつき

昼食後、美人軍団で散策しました。木々の緑が美しく気持ちが豊かになりました。

アカメガシワ（万葉名・ヒサギ）の横に歌碑が有り

「ぬばたまの夜の更けゆけば久木生ふる

清き川原に千鳥しば鳴く」

と詠まれていました。

「ぬばたま」ってなあに？夜の枕詞になぜなったの？私の質問に守口さんから「緋扇の実が黒く、その黒い実をぬばたまと言い、これを「黒」「夜」などを導く枕詞として使うのよ」と教わりました。アカメガシワもひさぎ（久木）と詠むと山部赤人の歌にぴったりします。集合場所に戻ると小嶺さんがタイサンボクの実でちよちよいかわいい「うりぼう」を作っていました。

一時間余りの間に木々の観察、歌の勉強、工作の講習と沢山の楽しみを味わいました。嗚呼楽しかった・・・皆様有難うございました。



6月21日(土)曇・雨・時々晴れ 参加者19名 1家族(4名)

湿地の草刈り、じゃがいもの収穫I

ややこしい天気だったが、時期の問題もあり、じゃがいも畑の1/2を収穫する。大きいのも小さいのも残さず20等分して皆で持ち帰る。家庭で当分じゃがいも料理のメニューが続くことだろう。皆さんのカンパは4100円、「ならやま基金」へ入金いたしました。

A地区湿地のガマ、葦などの草刈りが完了。隣接する山林の竹藪整理も進行しており、すっきりした景観へと生まれ代り始めている。湿地ビオトープの検討に掛るつもり。

2時30分解散

6月30日(月)晴 参加者21名 里山の昆虫調査 草刈り ジャガイモの収穫II

自称「昆虫少年」菊川さんを中心に、10名の調査メンバーが、シニア自然大学の昆虫科(中西、小林、片岡の3氏)の応援をいただいて実施。自転車道路沿いの林縁部と里山観察路を丹念に見て歩く。チョウ・ガ、カブトムシ、ハチ、トンボ、バッタ、ハサミムシなど住んでいる場所との関連で丁寧に説明いただく。昆虫以外にもハイタカ(オオタカ?)まで目撃されて、メンバーは又もや大興奮。ならやま里山林の豊かな生態系の一端に触れた貴重な機会でした。昆虫科の皆さん、有難うございました。また来てください。

前回出席できなかったメンバーのために残してあったじゃがいも2畝を収穫して配分。カンパ4000円、ならやま基金に積み立てました。ご芳志多謝。

ナス・クラブではカラスの食害が発生、対策を検討した。議論の末、防鳥ネットを張ることになり、全員大わらわの作業となった。果たしてこれで万全かな?でも、さぞかし素晴らしいナスが実ることでしょう。大汗をかいた後は、ならやま特産、手作りウメジュースとシソジュースで乾杯。爽やかな酸味が疲れを吹き飛ばす。2時30分 解散

7月4日(金)晴 参加者23名 A地区山の竹間伐、大豆播種、ナス第一回収穫

8:30始動。暑くなってから開始の時間が段々早くなる。ナスクラブは鳥除けの効果を確認して満足、初物の収穫に沸く。皆で1~2個づつ大切に持ち帰る。

山組はA地区の山にある竹やぶ整備を進める。下に隣接する湿地の草刈りが完了しているので、景観はずいぶん良くなっている。

畑組は、跡地を大豆畑とアイタデの植栽地に仕立てるため畝起こし作業を行なう。ここで、新鋭の耕運機が大活躍する。勢いあまって、排水溝に落ちると言うハプニングもあったが、大事に至らず引き上げて作業は終了。改めてその威力を感じ入る。

菊川さんからのチョウの解説に感服。また前回目撃したハイタカ?の同定では議論が沸騰。来る7月26日の奈良県山と森の月間イベント「ならやまで遊ぼう屋!」の実施に向けてムードは盛上っている。しかし、今日とはとにかく暑かった。2時30分 解散

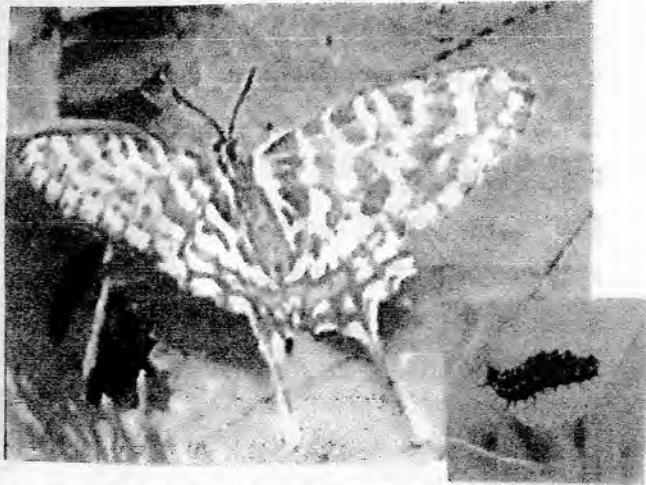
7月16日(水) ホーム・ページが公開!! ならやまレポートも写真入りで・・・

「奈良・人と自然の会」念願のホーム・ページが完成し、公開されました。皆さん是非見て、ご意見をお寄せ下さい。追々充実させます。アップロードしていただいた境さん、ご苦労様でした。有難うございました。HPのアドレスは次の通りです。

<http://www.justmystage.com/home/naranature/>

(古川 祐司 記)

ならやまプロジェクト定例作業日の6月21日(土)にベースキャンプ前の新しい駐車場のところでホソオチョウの雌1頭を発見しました。午前10時半頃のことで、天候はほぼ無風、曇りでした。佐保山近辺でホソオチョウを見るのは私にとっては初めてのことで、たいへん珍しいできごとでした。ホソオチョウは年に数回発生すると言われてい



まいます。このチョウはアゲハチョウの仲間ですが、普通によく見られるアゲハチョウ(ナミアゲハ)やクロアゲハなどよりうんと小さく、モンシロチョウを少し大きくしたくらいのチョウで、アゲハチョウのように後ばねに尾状の突起があり、これの細かいことがホソオチョウという名前の由来になっています。飛び方は大変おっとりしていて、ひらひらとゆっくり飛び、ジャコウアゲハの飛び方に似ています。人をあまり恐れないようです。このホソオチョウというチョウは従来日本にはいなかったチョウで、1970年代の後半頃に東京都下で発見され、それがJR中央本線沿線で次々に発見されるようになり、山梨県にまで及びました。1990年代になりますと、京都府、岐阜県、栃木県でも発見されるようになり、最近では兵庫県、大阪府その他数県でも発見されています。しかし、それぞれの都府県下でも棲息域は局地的ということです。これらの都府県のうち、京都府というのは木津川河川敷内のことです。このたびの発見は、ことによると奈良県第1号かもしれません。(多分先に発見した人がいるとは思いますが)このチョウのふるさとには朝鮮半島などで、チョウのマニアがどういふつもりかわかりませんが意図的に持ち込んで放したものとされています。それも順次複数箇所にとされています。このチョウの幼虫の食草はウマノズクサで、ジャコウアゲハの幼虫の食草と同じです。したがって、ジャコウアゲハに影響を与えるのではないかと心配する人もいます。佐保山、ことに私たちのベースキャンプ付近にはウマノズクサの生えているところはないようですから、ジャコウアゲハを見ることも希だと思えます。それにホソオチョウは飛翔力の乏しいチョウですから、さほど遠方から飛んできたとも思えませんので、不思議です。とにかく、佐保山でのホソオチョウの発見は特異なことですので、ご報告いたします。 (写真は筆者)

〔追記〕6月29日、奈良市芝辻町の佐保川堤でホソオチョウの幼虫を発見しました。ウマノズクサについているジャコウアゲハの幼虫の写真を撮っていたときに発見したものです。先の記事とともに、発見場所からみて、これもたいへん珍しいことです。

ならやま里山林自然観察レポート

7月4日 林 令子 ①

コクランが咲きました。
ツユクサ、ヒヨドリジョウゴ、
ネジバナ、ママコノシリヌグイも
咲いていました。
畑ではフジウツギ、キキョウ
オミナエシ、ハギ、コスモス
が咲いています。間もなく
フジバカマも開花し
そうです。



①ドクペニタケ

②ホタルブクロ

(右)【受粉後めしべの先
が3つに別れている】
守口京子さん撮影
平城山にて

②



社会貢献事業報告 森を育てる県民の集い

小嶺 敏勝

7月21日(月)に矢田山子供の森にて猛暑の中、夏休みに入った子供達の歓声で湧いた。当会はタケ切り体験、水鉄砲、タケポックリ作りで参加した。

9時に9名のスタッフが集合、県式典、表彰式の後、待ちこがれた子供達が一度に20名程訪れた。

行列ができながらもスタッフ全員汗だくになりながら対応、予定では2時頃迄かかる材料が昼には無くなってしまった。昼食をしながら、反省会をして2時前に終了した。夏はやはり水関連が人気です。

参加スタッフ、順不同 阿部、古川祐司、岩田、本郷、竹本、森、林、守口、小嶺

よろしく

皆さんに導かれ

竹本 政昭

彼らは少し下がってホール状の森に出た。思わず疲れも飛ぶほのかな薫りに迎えられた。純白の大輪が「ようこそ。」と顔を出し、そよぐ天女の衣に触れる様に引き付けられる。近くの木陰に車座となって昼だ。周囲の樹上ではソプラノ、アルト、テノールと歌ってる。何と贅沢なレストランでしょう。泰山木と梅壇とうれしい限りのもてなしの天香具山であろうことか。人生の秋をingの人々はこれからもずっと自然に感謝し、共に生きることを心新たにするのでした。

楽しいハイキングや里山整備、森林整備、子供たちとの触れ合い等々多くの機会にめぐまれ、汗を流す事の喜びを積み重ねて行きたいものです。

私は50歳頃、登山クラブに入り登山を始めるようになり「自然」を意識するようになりました。ほんの少しですが森林ボランティア活動や里山活動にも参画しておりました。

今年の2月生駒市主催の「環境シンポジウム」に参加し、入口で当会のパンフレットをいただきました。一読して「これは面白そう」と数日後に川井会長にお電話して入会させていただきました。入会してすぐ感じたことは、誠に自由で皆様大人の方が多いということでした。いつまでも何かと未熟な私など「若造？」の気持ちにさせられております。

「自然大学」のことは数年前から知っておりましたが、1年の長丁場ということもあり入学をためらっておりました。当会の皆様が一樣に「自然大学は面白いよ」と話され、急遽入学いたしました。現在15期の現役生です。

「大学」では、自然を様々な角度から学習し、観察、実習の中で自然に対する“新しい見方”を教えられる毎日です。自然のある生活、森林問題などを背景に“里山に関する学習”も多く、大変勉強になっています。

しばらく当会行事への参加は少なくなっておりますが、卒業後は学んだことの実践の場として、一層お世話になることと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。



トビ 鷹 トンビ II

小田 久美子

中国ではトビは「物忘れ」の象徴であつたらしく、肅宗(宗代)の皇后は、帝に飲ませるお酒にこっそりトビの脳を混ぜていたそうです。このお酒を飲むと、長く酔いが覚めず物忘れがひどくなると信じられていて、その効き目があったのか、皇后は帝を好きなように操縦し政治を思うままにしたそうです。なんとも恐ろしい皇后様です。死んだ魚やネズミ・弱った小鳥・ヘビ・カエルなど悪食な所を嫌われウオッチャーには不人気ですが、いわゆる「スカベンジャー」★とても大切な(地球にやさしくエコな)存在★でもあります。

食生活ばかりか住環境も墮落していて、他の鷲鷹がひっきりなしに青葉のついた新しい枝で住まいを清潔にリフ

レッシュするのに、針金のハンガーやスーパーの袋、薄汚れたビニールの紐がだらしなく垂れ下がり、ゴミ溜めがそのまま移転したような巣でも無頓着で満足のように。他の鷲鷹は、いるだけで存在感があり他の鳥たちがナーバスになります。オオタカなどにはカラスは特に我慢がならないらしく、必ず集団で追い回していますが、マイペーストビにはどの鳥も不思議に無関心。名より実を採った鷹なのです。

もし来世があるのなら是非、空に輪を描いてのんびり「ピ-ヒョロ-」と謳いたいものです。



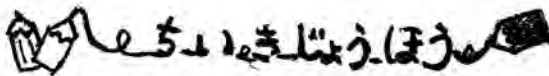
自然俳句欄

香具山のみどり^{よろ}鑑ひて高からず 秀 夫

6月例会。好天に恵まれ、古代人になりきって遺跡を訪ふ。
水神を祀る万葉の森は、アドレナリンが溢れる。

賀茂茄子のまるまる^{まろ}円く紫紺かな 秀 夫

茄子クラブ。7月4日 待望の初収穫。
艶よし、味よし、晩酌の肴に酒量が増える。



★(檀原より)7月6日朝4時半頃突然「カナカナカナ・・・」の声を覚めました。去年と同じ日ですが去年は夕方でした。それ以来朝は声を聞かずあの時のヒグラシは夜中からモジモジと殻から出始めソロソロ口と羽を広げ「やったー！」と思ったその時に「カナカナ・・・」大きい声でたのかな？勝手に想像しています。7月11日2年ぶりに宇治でヤマセミを見ました。寝屋川の八坂神社でアオバズクを見てきました。(齋藤)
★7/7 南加茂台 サンコウチョウ 7/15 芳野川 オシドリ♀と雛9 (小田さんの友人)
★(斑鳩より)7/12 ゴイサギの成鳥・【幼鳥ホシゴイ(第1回夏羽ね)・(第2回夏羽)】3羽がそろって竜田川にいました。7/18 三代川(大和川の支流)からカルガモのヒナ2羽が濁流の大和川に流されて行きました。成鳥になるのは大変です。(勝田)

お知らせ

♥ 奈良・人と自然の会ホームページの立ち上げについて

7月16日奈良・人と自然の会待望のホームページを立ち上げました。
TOP ページは、奈良公園をあしらって、私たちのベースである奈良のイメージを強調する中に人と自然のかかわりの芋掘りの写真を取り入れました。
今後、LINK ページ、ならやま里山林(ならやま BC)のアクセス地図、更新履歴のページを追加する予定です。
今後、例会等の報告、行事予定等を更新していきますが、皆様のご意見をお聞かせください。
なお、ホームページアドレスは下記の通りです。
<http://www.justmystage.com/home/naranature/>
携帯電話による行事予定は、下記のアドレスで見ることができます。
http://www.justmystage.com/home/naranature/keitai_votei.htm/
下記のQRコードで、上記携帯アドレスを読むことができます。



♡ 会員名簿の配布について

「なら・人と自然の会」は、平成20年7月現在で104名の会員の皆さんが集まっています。会員相互の親睦、交流を深めるために「会員名簿」の交付要請があります。ご承知のように、個人情報の拡散防止からこれまでには配布してきませんでした。今回そうした要望に答え、市区町村までの名簿作成、そして配布を考えています。

会員各位の名簿記載が不都合の方は、勝田 均、阿部和生 いずれかまでご連絡ください。8月末までにご連絡のない方は、掲載「可」と了解し作業を進めたいと思います。またこうした配布に対しご意見を寄せてください。同じく8月末までに、ホームページが出来上がりましたのでぜひ開けてみてください。会報までに必要とする情報などは適宜掲載する予定です。

♡ ボランティア活動保険について

あつてはならない事、もし遭遇したらそれを補償するのが保険ですが、私達が加入しているボランティア活動保険とはどんな内容なのでしょう。以下簡単にまとめます。

契約形態：当会「奈良・人と自然の会」が加入申込者となり、会員ひとりひとりを被保険者として締結した団体契約保険です。入会と同時に納入会費より手続きを行っています。

掛け金：ひとり260円（平成20年度）

扱い店：社会福祉法人奈良県社会福祉協議会

保険会社：日本興亜損害保険株式会社

補償期間：4月1日から翌年3月31日午後12時までの1年間。特に始まりは、扱い店が所定の手続きと掛け金の入金を確認した翌日からとなります。

補償内容：活動中の事故によるケガや賠償保険で、学習会や会議、移動途中、日射病や熱射病の熱中症、途上にあった交通事故も含まれます。入院1日：7,000円 通院1日：4,500円 死亡：1,418万円 後遺障害：1,418万円（限度額） 賠償事故5億円（限度額）。

対象：日本国内における「自発的な意思に基づき他人や社会に貢献する無償のボランティア活動」を指します。従って対象地区は奈良県に限定されず、国内全域で、かつ「奈良・人と自然の会」の企画された行事のみならず、会を離れて、個人が実施した上記の「 」内の活動をも含みます。

非対象：自動車による事故は、加入者自身の障害のみが補償されますが、その他はすべて自動車保険の対象。野焼きや山焼き、チェーンソー使用も（免責事項）。頸部症候群や腰痛も非対象です。

その他：グループ全体に起因する賠償責任は支払われません。あくまで一人一人の個人です。

詳細につきましては、同封のパンフレットをお読み下さい。

（平成20年7月再掲 文責 明石嘉一郎）



原則 前日の午後7時前のNHK天気予報で降水確率(午前)60%以上の場合は中止

『ならやま里山林プロジェクト8月の予定』

このプロジェクトは三井物産環境基金の助成を受けています

- 場所** 奈良市奈良坂町・佐紀町の県有林 (JR 平城山駅下車徒歩10分)
—「ならやま会館」前の道路(ならやま大通り)の南側に広がる林地—
- 日時** 8月8日 (金) 一般活動日
8月23日 (土) 一般活動日 (第一回講座生教育認定行事日)
8月30日 (土) *奈良県山と森の月間イベント「ならやま里山林自然体験」
8月31日 (日) 予備日 いずれも 9時集合 終了予定3時
- 集合** 現地ベースキャンプ地
- 交通** ①近鉄奈良駅 バス13乗場8:23発 高の原行
②近鉄高の原駅 バス1番乗場8:30発 JR奈良行
①②とも佐保台西口、または平城大橋下車 徒歩約7分
- 携行品** 弁当、飲み物、軍手 (作業用具は現地に用意しています)
- 活動内容** 里山林整備、環境整備、植生調査、放置田跡の笹刈、花木植栽等の景観形成
畑作業は、除草、有機栽培のための堆肥作り、土作り、
景観クリエイター募集
里山にふさわしい景観を作りたいと思っています。花、樹木の植栽に関心のあるボランティアを募集します。また、花壇・山野草類の育成についてアイデアや苗をご提供下さい。また果樹の苗なども寄贈いただければ幸いです。

*奈良県「山の日」協賛「ならやま里山林自然体験」の実施について

- 8月30日(土) 10時開始～2時30分 終了予定
(担当スタッフは、ベースキャンプ9時集合のこと)
対象: 小学生と保護者 定員30名
内容: 「ならやま」で里山ハイキング、竹切り、竹クラフトなど
参加申込 阿部和生
(問合せ先 : 古川 1 小嶺)

【奈良忍辱山森林整備作業】

- (場 所) 奈良市忍辱町 国有林 東海自然歩道沿いの二次林です。
(一円成寺口バス停少し手前)より徒歩10分
- (集合場所) 国道369号線、忍辱山円成寺口バス停より少し手前の右側です。
駐車場—忍辱山町自治会共有地
- (日 時) 8月はお休み。
9月17日、予備日9月24日← 予定表に書き込みください!
- (連絡先) 弓場厚次、明石嘉一郎 板橋宏昌

作業報告 7月15日 曇り 小森清道、竹本雅昭、森 英雄、弓場厚次、明石嘉一郎、

阿部和生 参加者6名

ベースキャンプ地は、風がとおり心地よいが、作業現場の谷に入ると、アセが吹き出る蒸し暑さでした。手を入れたところとそうでないところは一目瞭然、常緑樹や株立ちの樹木の整理伐を実施しました。斜面の大きな「松の枯死木」が、どうっ とばかりに倒れこみその周辺の樹木をなぎ倒していました。下敷きになっている破損木の葉はまだ青く、前日くらいに倒れたのでしょうか。枯れた松の木の怖さを目の当たりにしました。この忍辱山国有林は、「私たち会員の森林作業の研修の場」と位置付け これからも、「のこぎり・ロープ」を主体とした施行 初心者からベテランまでの学びの場として継続してゆきたく思います。

(阿部和生記)

8月度例会 「ならやま里山林自然体験」

森を「知る」－「守る」－「遊ぶ」

「竹を伐る!」「竹のクラフト」「里山のハイキング」

日時…8月30日(土)10時～2時30分ころ

場所…奈良市奈良坂町(JR平城山駅より南へ徒歩15分)

いずれも詳細は、申し込み後にお知らせします。

定員…30名(先着順)

対象…小学3年生～6年生と保護者

持ち物…弁当、飲み物、軍手、山歩きのできる服装

申し込み…☎&FAXで

主催…奈良・人と自然の会。(奈良県 山と森の月間対象事業)



〈9月の予定〉

9月例会「赤埴の巨樹と佛隆寺」

—彼岸花の参道が美しい佛隆寺—

日程：9月26日(金)

担当：岩田利秋

・林令子

*詳細は会報第80号(9月号)お知らせします。

「いこま棚田クラブ」の活動日 ご案内

8月活動日・・3日(日)、11日(月)、17日(日)、25日(月)、31日(日)

集合場所と時間：近鉄生駒駅下車、南口側ケーブル駅西隣セブンイレブン前 AM9時集合
現地まで車で移動15分。弁当・飲み物持参下さい。

*8月の作業は、午前中のみ 昼食を摂って歓談後解散とします。

奈良・人と自然の会7月度幹事会 議事録

日時 平成20年7月8日(火) 場所 中部公民館 司会 林 記録 境

【報告事項】

(1) 会員動向・会計報告

会員在籍：98名(先月+1) 会計：現在高 ¥1,568,326- (郵貯・南都口座分)

(2) 例会「天香久山・万葉の森」 担当：川井、阿部 6月14日(土) 晴れ 24名参加

(3) 奈良・忍辱山森林整備作業 6月18日(水) 参加11名 林野庁より2名

(4) ならやま里山林プロジェクト 6月21日(土)、6月30日(月)、7月3日(木)、7月4日(金)
耕耘機等の購入について (耕耘機 ¥290,410- 物置(工事含む) 盗難保険)

(5) 助成金・支出状況及び備品状況

学びあい・支えあい事業助成説明会 6月17日(火) 奈良NPOセンター

(6) その他 いこま棚田 インターネットHPの進行状況報告

ノートパソコン購入について(今後検討) ハンドマイク購入について 了承

【討議事項】

(1) 奈良・忍辱山森林整備作業・・・今後も月1回の整備作業を継続

ならやま里山地区・・・雑木林の部分の整備について今後検討

会員名簿会員への配布可・否・・・8月会報にて名簿希望の調査を行う

【確認事項】

(1) 7~9月スケジュールの確認 ・幹事会(8/5 9/9) 中部公民館
・例会(7/18 8/30 9/26) ・忍辱山(8/休み 9/17, 予備24)
・ならやまBC(8/8, 23, 予備31 9/11, 27, 予備30)

(2) その他

11月10(月)~11日(火) 吉野川源流を探る(例会)

シニア自然大学の教育実習生のならやま里山林での受け入れについて

編集担当：勝田 均

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 阿部 和生